



HOSODA
JUNIOR
HIGH SCHOOL

学校だより 令和5年5月号

日南市立細田中学校

文責 校長

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4206/>



GWが終わり、年度初めの学校行事等も落ち着いてきました。元気で明るい声が校内に広がっています。でも。もしかしたら、笑顔の裏で複雑な気持ちの人がいるかもしれません。生徒の皆さん、安心してください。そんなときは吐き出してもいいのですよ。それを受け止めてくれる温かい先生方がいつでも側にいます。

多様な価値観に触れ、答えを創り出す経験を

始業式で、「細田中学校で『自分で考え、自分で答えをつくる経験』」を積み重ねてほしいということを伝えました。そのかけがえのない経験をとおして、自分が生きていること、生かされていることなど、何事にも「感謝」し、「挑戦」の気持ちを忘れず、「自立」への階段を自分のペースで上ってほしいと願っています。



近未来、社会はすさまじいスピードで変化し、職業や働き方、求められる職業人としての資質や能力が変化すると想定されます。その資質や能力の一つは、AIで代替えができない、ヒトが創造する力です。未知の課題や状況にぶつかったとしても、周りとの協力して突破口を見つけられる企画力や実行力、新しい価値観を求め、ゼロからイチを生み出すような力です。

そこで、細田中学校でも、生徒が自ら「問い」をもち「答え」を創り出す場、学校外の皆様から多様な価値観を学ぶ場を設定したいと考えています。



上の写真は、生徒総会に向けた全校討議の一場面です。校則は必要、不要の二つの立場に分かれて意見を交わしています。担当の先生から、根拠や事例を加えて意見を述べることなどの助言を受けました。本時の目標は「校則について自分なりの考えをもつ」。一時間の授業の最後に、考えを表出することで目標達成となります。まだ、本番となる生徒総会の事前段階ですが、考えを深める経験となりました。



答えは、与えられ、再生するだけのものではない、創り出すものでもあるのです！

地域の皆様も、ぜひ細田中学校の教育に様々なお力をお貸しください。

裏に続きます

認知症サポーター養成講座

5月8日に表記の講座がありました。日南市地域包括支援センター、日南市役所長寿課から総勢5名の方々がお見えになり、生徒たちに貴重な経験をさせてくださいました。

① 認知症の知識や課題を得る

② 課題の答えを話し合う

③ 実際に確かめる



大変興味深いプログラムでした。縦割りのグループで、上の①～③を行ったり来たりしながら学習していきました。認知症の人への接し方の基本は、「驚かせない・急がせない・自尊心を傷つけない」です。これは、認知症の人に限らず、誰に対しても同じことが言えます。相手を理解して行動するという事です。特に、③では、認知症役の先生に対して、グループで考えた答えをもとに対応してみましたが、なかなか難しいようでした。理解していることと体現できることは違うようです。だから、私たちは深い理解をして、様々な見方で物事を捉える必要があるのです。

この体験が、社会科の松田先生が中心となって、講師の先生方と事前に打ち合わせをしたり、会場を設営したりと、影で動いてくださっているの方々のおかげでできあがったものであることも、ここで述べておきたいと思います。今後も、生徒たちの挑戦は続きます！

生徒の笑顔を守るために

いじめ防止基本方針(改訂版)をホームページにアップしました。本校からのいじめの一掃を目指します。また、生徒や保護者の皆さんが、何か心につかえているとき、学校でも学校以外でも相談できる窓口はたくさんあります。私が学級担任のとき、一人で悩まない「勇気」と「言う気」が必要だ、と生徒に言うておりました。生徒や保護者の皆様が悩みなどがあるとき、学校は、共に悩み、考えたい。学校が皆様にとって頼りになる存在でありたいものです。

6月の主な行事予定 詳細は、個別の連絡でご確認ください。



7日(水)地区中学校総合体育大会激励会

8日(木)耳鼻科検診 10日(土)・11日(日)地区中学校総合体育大会

14日(水)細田中校区小学校集合学習

17日(土)地区中学校総合体育大会(陸上競技)

27日(火)～29日(木)教育相談

6月26日(水)～7月20日(木)「日南市いのちの教育」指導旬間